

<元気に登校 笑顔で下校…活動の幅を広げる①>

校長 佐藤 幹彦



今年度は、コロナの規制緩和を受けて、少しずつ学校行事や教育活動の幅を広げつつあります。



4月12日(水)には、全校生徒が体育館へ集まって「生徒総会」を開催しました。また、17日(月)には、1年生を対象とした「部活動説明会」を開催しました。どちらも、以前は参集型で行っていたものの、コロナ禍では、中止したりオンライン配信で行ってきたりしたため、今の在校生たちは経験したことがありません。それでも、生徒会執行部や委員長さん、各部の部長さんたちは、昼休みや部活動の時間の中で、何回も練習しリハーサルなどを行って当日を迎えました。



後から話を聞いてみると、「とても緊張した」「うまくできるか心配で足が震えた」といった感想が聞かれましたが、当日の生徒の姿は、自信に満ち溢れて、「熱い思い」が伝わってくる素敵な語りであり、見ているものを惹きつけるパフォーマンスができたと思います。まさに、本校が身に付けさせたい力の一つである、「創造の力=自分たちの生活を自分たちの手でより良くしようと創意工夫する力」を発揮する場として、とても良い機会になったと思います。

今後も、「教育課程」を含めて少しずつ教育活動の幅を広げていく中で、生徒たちが熱く語ってくれたように、「コロナ禍前に戻る」のではなく、「令和の新たな蘇原中づくり」を目指して頑張っていきたいと思っています。そして、「生徒たちが身に付けた力を発揮する場」をできる限り設定しながら、生徒たちの「自己肯定感」「自己有用感」を高めていくよう、認め励まし続けていきたいと思っています。